

平成 27 年 2 月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美



『訪米使用済み核燃料中間貯蔵施設調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

我が国においては、2014 年現在、原子力発電に伴って発生した約 17,000 トンの使用済燃料を保管中である。使用済燃料を安全に管理するため、貯蔵能力を強化することが必要であり、安全を確保しつつ、それを管理する選択肢を広げることが喫緊の課題である。発電所の敷地内外を問わず、あらたな地点の可能性を幅広く検討しながら、中間貯蔵施設や乾式貯蔵施設等の建設・活用を促進するとともに、そのための政府の取組を強化する（「エネルギー基本計画」平成 26 年 4 月）、とされています。

本調査は、2014年6月 EU 諸国の使用済み核燃料貯蔵施設調査団に引き続いて、上述の我が国における使用済燃料貯蔵に関する対応に資するため、米国で先行して実用化している金属キャスク貯蔵やコンクリートキャスク貯蔵など最新の貯蔵技術の内容、安全性の根拠となる知見、操業経験、経年劣化管理・対策の現状などを調査致します。これにより、我が国における使用済燃料貯蔵技術の技術開発、貯蔵施設の立地・設計・建設、安全評価、許認可対応、運転、一般公衆への安全性説明などに従事するものなどに役立つ知見を得るものであります。

今回、5月5日(火)～5月7日(木)フロリダ州オーランドにおいて Nuclear Energy Institute 主催による“Used Fuel Management Conference”が開催されますので、本会議に出席を通じて、米国をはじめとする各国参加者との積極的な意見交換を行う事を予定しています。

本趣旨をご理解頂き、関係各位のご参加をお願い申し上げますと共に、本調査にあたり、ご希望される質問事項についてご意見ご助言を事務局までお寄せ下さいます様お願い致します。

ご参加頂ける場合は別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、2015年4月1日(水)までに下記、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)又はE-mail(gyomu@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。何卒よろしくご検討賜ります様お願い申し上げます。

敬具

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp> <http://www.jef-site.or.jp/npgef/>

<http://www.wkx21c.org>

『訪米使用済み核燃料中間貯蔵施設調査団』参加要項

1. テーマ:『訪米使用済み核燃料中間貯蔵施設調査団』
2. 期間:2015年5月3日(日)～5月10日(日) 8日間
3. 主催:一般社団法人 日本技術者連盟(JEF)
4. 団長:三枝 利有氏 一般財団法人 電力中央研究所
首席研究員 工学博士



■略歴

1981年より、電力中央研究所にて使用済み燃料貯蔵のプロジェクト研究に従事開始。
1993年 原燃サイクルプロジェクト部輸送・貯蔵チームリーダー
1999年 バックエンドプロジェクトリーダー
2010年 首席研究員

日本、IAEA、米国等の政府や学会等における使用済み燃料等の輸送・貯蔵の委員会や国際会議で主査・委員。

5. 趣 旨:

我が国においては、2014年現在、原子力発電に伴って発生した約17,000トンの使用済み燃料を保管中である。使用済み燃料を安全に管理するため、貯蔵能力を強化することが必要であり、安全を確保しつつ、それを管理する選択肢を広げることが喫緊の課題である。発電所の敷地内外を問わず、あらたな地点の可能性を幅広く検討しながら、中間貯蔵施設や乾式貯蔵施設等の建設・活用を促進するとともに、そのための政府の取組を強化する(「エネルギー基本計画」平成26年4月)、とされている。

本調査は、2014年6月 EU 諸国の使用済み核燃料貯蔵施設調査団に引き続いて、上述の我が国における使用済み燃料貯蔵に関する対応に資するため、米国で先行して実用化している金属キャスク貯蔵やコンクリートキャスク貯蔵など最新の貯蔵技術の内容、安全性の根拠となる知見、操業経験、経年劣化管理・対策の現状などを調査する。これにより、我が国における使用済み燃料貯蔵技術の技術開発、貯蔵施設の立地・設計・建設、安全評価、許認可対応、運転、一般公衆への安全性説明などに従事するものなどに役立つ知見を得るものである。

今回、5月5日(火)～5月7日(木)フロリダ州オーランドにおいて Nuclear Energy Institute 主催による“Used Fuel Management Conference”が開催されますので、本会議に出席を通じて、米国をはじめとする各国参加者との積極的な意見交換を行う事を予定しています。

6. 調査項目:

- ① 貯蔵方式選定の経緯・根拠
- ② 貯蔵施設の準拠法令、設計基準
- ③ 立地点固有の条件と対策
- ④ シビアアクシデント対策
- ⑤ 貯蔵施設の操業経験、経年劣化管理・対策と許認可更新
- ⑥ 一般公衆への安全性説明
- ⑦ 米国における敷地外貯蔵の動向、輸送・貯蔵の課題など

7. 訪問先及び概要：(訪問先は、先方の都合等で変更になる可能性があることを予めご承知おき下さい)

① **Prairie Island Nuclear Power Plant (輸送・貯蔵兼用金属キャスク貯蔵サイト)**

Operator: Xcel Energy/Northern States Power Company – Minnesota

Location: 40 miles southeast of Minneapolis–St. Paul, Minn.

Operating License Unit 1: Issued – April 05, 1974, Expires – August 09, 2033

Operating License Unit 2: Issued – October 29, 1974, Expires – October 29, 2034

Reactor Type: Pressurized Water Reactor (PWR)

Electrical Output Unit 1: 551 Megawatts Electrical (MWe)

Electrical Output Unit 2: 545 Megawatts Electrical (MWe)

② **“Used Fuel Management Conference” 出席**

2015年5月5日(火)～5月7日(木)フロリダ州オーランドにおいて Nuclear Energy Institute 主催

詳細は右記をご覧ください(<http://www.nei.org/Conferences/Used-Fuel-Management-Conference>)

③ **マクガイア原発 McGuire Nuclear Station (金属キャスク及びコンクリートキャスク貯蔵サイト)**

ノース・カロライナ州シャーロット(州内最大人口都市)に近い州最大の湖「ノーマン湖」(Lake Norman) 畔に建設。1号機の許可は1981年12月(期限2041年6月)、2号機の許可は1984年3月(同2043年3月)とこちらも比較的新しい。いずれも加圧水型軽水炉で原子炉はウエスティングハウスが製造・納入。能力はいずれも110万kW。建設コストはわからない。操業も所有もデューク社。近年周辺の人口が増加しており、原発から半径16Km内の人口(約20万人:2010年。2000年比66.8%増)、半径80km内の人口(約285万人。同23.3%増)が懸念事項としてあげられている。

8. 募集人員:15名(最少催行人数10名)

9. 参加費:¥1,150,000- (消費税込)

※催行人数10名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には参加費の変更がありますことを予めご了承下さい。

10. 通訳者:ベテラン適任者

11. 添乗員:添乗員は全行程同行いたします。

12. ホテル:一人部屋

13. 旅行主催:万達旅運株式会社 ワンダートラベル

14. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構

15. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、2015年4月1日(水)までにFAX(03-6229-1940)

又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社 ワンダートラベルより手続きに関するご連絡をさせていただきます。

16.代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F

Tel +81-3-6229-1946 Fax: +81-3-6229-1940

E-mail: idot@jef-site.or.jp URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

URL: <http://www.wkx21c.org>

訪米中間貯蔵施設調査団

日程表 2015年5月3日(日)～5月10日(日) 8日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい。
 ※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	5/3 (日)	成田(NRT)発 ミネアポリス(MSP)着	DL-585 専用車	14:20 16:40 13:45	成田空港集合 搭乗手続き デルタ航空にてアトランタ乗継ミネアポリスへ ホテルへ ミネアポリス泊	機内食 夕 ○
2	5/4 (月)	ミネアポリス 片道約100Km 約1H15m ミネアポリス(MSP)発 オーランド(MCO)着	専用車 DL-2503	午前 17:35 21:46	Prairie Island Nuclear Power Plant 1,2 訪問 http://en.wikipedia.org/wiki/Prairie_Island_Nuclear_Power_Plant デルタ航空直行便にてオーランドへ オーランド泊	朝 ○ 昼 △ 夕 X
3	5/5 (火)	オーランド		終日	Used Fuel Management Conference Omni Champons Gate 出席 オーランド泊	朝 ○ 昼 X 夕 X
4	5/6 (水)	オーランド		終日	Used Fuel Management Conference Omni Champons Gate 出席 オーランド泊	朝 ○ 昼 X 夕 X
5	5/7 (木)	オーランド オーランド(MCO)発 アトランタ(ATL)着 アトランタ(ATL)発 シャーロット(CLT)着	専用車 DL-1058 DL-2052	午前 午後 16:30 18:04 18:55 20:15	Used Fuel Management Conference Omni Champons Gate 出席 空港へ アトランタ乗継シャーロットへ シャーロット泊	朝 ○ 昼 X 夕 ○
6	5/8 (金)	シャーロット 片道約30Km	専用車	終日	McGuire Nuclear Station 訪問 http://en.wikipedia.org/wiki/McGuire_Nuclear_Station シャーロット泊	朝 ○ 昼 △ 夕 ○
7	5/9 (土)	シャーロット(CLT)発 ダラス(DTW)着 ダラス(DTW)発	専用車 DL-2390 DL-275	9:38 11:30 12:10	空港へ デルタ航空にてダラス乗継帰国の途へ	朝 ○
8	5/10 (日)	成田(NRT)着		14:00		

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、事務局、添乗員同行費用
- ・ 通訳料

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ 現地手配費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代 他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) "Used Fuel Management Conference"

- ・ 参加費用

IV) 企画・運営費

- ・ 企画運営費

その他

- ・ 参加費は、2015年2月24日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 米国ESTAは参加費には含まれていません。2010年9月8日より、全てのビザ免除プログラム参加国(VWP)の渡航者は、旅行促法により定められたElectronic System for Travel Authorization (ESTA)の有効可能な認可をお持ちで無い場合には、米国ご出発までに所定の手続きを行って下さい。詳細は下記をご参照下さい。

<http://japanese.japan.usembassy.gov/j/visa/tvisaj-esta2008.html>
及び <https://esta.cbp.dhs.gov/esta/>

- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

- ◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。
- ◎運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
	佐藤 正文	社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
監事	田代 空	特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会 前会長
	寺村 康佑	元財団法人 日本人事行政研究所 理事長 株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木直彦	前財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	財団法人経済産業調査会 理事長
	逢坂 國一	社団法人日本電気技術者協会 会長
	荒井 利治	前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暲	元社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 涉	社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	津山 雅樹	社団法人日本電機工業会 原子力部長
	富岡 義博	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	前日本原子力発電株式会社 常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問
	諸葛 宗男	法政大学 客員教授 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道	技術士(建設部門、総合技術監理部門)
	坂倉 省吾	財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士
	島 直	ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シェルバ
	佐藤 正文	前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事
	小泉 英雄	技術士(電気電子部門)
	鄭 紹良	台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾總統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。

『訪米使用済み核燃料中間貯蔵施設』
参加申込書一般社団法人 日本技術者連盟（JEF） 行
FAX 03-6229-1940

フリガナ			
会社名・団体名			
英文名			
所属名/役職名			
英文名			
フリガナ		生年月日	大正・昭和・平成・西暦
参加者氏名		年	月 日
パスポート記載名 (ローマ字)		学位	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先	ご住所 〒 -	電話番号	FAX番号
ご自宅	ご住所 〒 -	電話番号	
フリガナ			
担当責任者名	印		
所属名/役職名			
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)			
① はい <input type="checkbox"/> 旅券番号: _____ 有効期限: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
② いいえ <input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券申請書類の作成代行を依頼する。(有料)			
<input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する			
ESTAの有無について			
<input type="checkbox"/> 許可済 許可年月日: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
<input type="checkbox"/> 未申請			
喫煙の習慣	有・無	マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい	
通信欄 (ご質問・ご希望等 お書き下さい)			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html> E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

<http://www.atto-asia.jp> E-mail: info@atto-asia.jp

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208